

## 平成29(2017)年度 スタダードリスト

◎本リストは、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の対象となる授業科目・講座・個別プログラムの平成29年度の一覧表である。平成26～28年度については、それぞれの年度版を参照のこと。

◎本プログラムはポイント獲得で修了証に至るしくみである。本リストには、対象授業科目等のポイント数が示されている。ポイントは原則実稼働時間10時間で1である(授業科目は1単位につき1.5ポイント、現地実習は原則1.5日で1ポイント)。これを参考に、本プログラム各ステップの修了を目指してもらいたい。

◎本リストは、大学コンソーシアム石川に加盟する県内全高等教育機関の学生にオープンにされているもの、及び県内高等教育機関に共通して存在するもので構成されている。ただし、趣旨に合致するものであれば、各高等教育機関の学生のみが受講できる授業科目(教養・専門・大学院の別を問わない)・講座・個別プログラムであっても、本プログラムの修了証申請時に各ステップ各ブロックの対象科目と見なすことができる。趣旨に合致していることが確認できた各高等教育機関の授業科目等については、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で別途、「読み替えリスト」として公表する。

◎本リストには予定のもの・仮称のものも含まれるため、随時更新していく。更新されたリストについては、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で公表する。

### ステップ1 (基礎)

◎**基礎スキル** 趣旨：フィールドワークの基本スキルの獲得 (このブロックのポイントは必修ではない)

区分	授業科目名(単位数)・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期	実施主体 (連携自治体・団体)	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	課題演習Ⅰ (フィールドワークの基礎と実践) (2単位)	前期	金沢星稜大学	3

◎**第1ブロック** 趣旨：石川への理解を深める

区分	授業科目名(単位数)・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期 (予定)	実施主体 (連携自治体・団体)	ポイント数 (予定数)
シティカレッジ 開講科目	石川県の市町 (2単位)	前期	金沢大学 (石川県)	3
	石川県の行政—いしかわの行政が目指すもの— (2単位)	後期	金沢大学 (石川県)	3
	金沢の歴史と文化—金沢市内の文化施設とその役割— (2単位)	後期	金沢大学 (金沢市)	3
	工芸史Ⅰ (2単位)	前期	金沢美術工芸大学 (機関開講)	3
	麴と石川の発酵産業 (2単位)	前期	金沢工業大学	3
個別プログラム	いしかわで学ぶ未来可能性 (地域創生概論) *1		いしかわ学生定着 推進協議会 (COC+事業)	1.5

\*1: 「いしかわで学ぶ未来可能性 (地域創生概論)」は県内の高等教育機関に所属する学生ならば誰でも学べるインターネット教材です (<https://study.ishikawadream.org/signup/>)。登録をして受講し修了証を獲得してください。また、大学によってはこれを授業の一環として組み込んでいる場合があります。その場合は、各大学のその他の内容の学習時間と合わせてポイントを決めます。たとえば、金沢大学の「地域概論」の場合は8回分の授業とセットになっているので、合わせて3ポイントとします。

\*1: このほかに、COC+事業で実施しているものに「地域「超」体験プログラム」(金沢大学)があります。本プログラムは、1単位相当なので、1.5ポイントとなります。

◎第2ブロック 趣旨：企業・地域などについて学び、フィールド教育によって行動力を養う

太字は 実際に地域に入って実習を行う「ステップ2（行動力発展）対象科目」ともなるもの

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	里海体験実習in 能登半島（1単位）	前期・集中	金沢大学	1.5
	里山体験実習in 能登半島（1単位）	前期・集中	金沢大学	1.5
	能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー（1単位）	前期・集中（9月13日～15日）	金沢大学（能登キャンパス構想推進協議会）	1.5
	実践アントレプレナー学（1単位）	前期	金沢大学（機関開講）	1.5
個別プログラム	能登島丸かじりフィールドワーク講座	9月14日～15日	石川県立大学	1.5
	民泊型フィールド実習（能登町）	9月1日～3月30日	石川県立看護大学	3
	創造工学演習		石川工業高等専門学校	3
	「能登実践型インターンシップ（奥能登インターンシップ）」	5月～10月	金沢星稜大学	3
	地域防犯推進プロジェクト～地域安全マップづくり	6月、10月	北陸大学	3
	いしかわ未来アカデミー		いしかわ学生定着推進協議会（COC+事業）	6
	共創インターンシップ*2		いしかわ学生定着推進協議会COC+参加大学（COC+事業）	実稼働時間によってポイント数が異なる
	「能登・祭りの環」インターンシップ*3		能登キャンパス構想推進協議会（COC+事業との連携）	実稼働時間によってポイント数が異なる
各高等教育機関で実施されるもの	インターンシップ（事前・事後研修・報告会があるもの、及び単位になっているもの）	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	インターンシップ（事前・事後研修・報告会がないもの）			
	「地域課題研究ゼミナール」採択ゼミ			
	「地域貢献型学生プロジェクト」採択プロジェクト			
	★「地域課題研究ゼミナール」「地域貢献型学生プロジェクト」不採択ゼミ・プロジェクト（地域に入っ ての実習とプレゼンが確認できるもの）			

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。

・ステップ2対象科目・個別プログラムは本来はポイント数3以上で、事後の報告会を必要とするが、3ポイント以下であっても複数の授業・個別プログラムに参加することで、同等の力がつくと思られるものもゴシック太字にしてある。ただし、これらの授業・プログラムで事後の報告会が行われていない場合は、別途審査委員会の側で報告会を設定し、審査の対象にする。

\*2: 「共創インターンシップ」のうちポイントが確定しているのは、次のとおり。  
「であっていいじゃないプロジェクト」(1回参加あたり0.5ポイント)、「I LOVE いしかわ学生創出会議」(1回参加あたり0.5ポイント)、「みんなの未来地域アイデアソン」(1日0.5ポイント×参加日数、最大6ポイント)、各参加大学主催共創インターンシップ(原則1日0.5ポイント×参加日数、最大6ポイント。ただし、各大学のインターンシップの単位になっている場合は、ポイントは単位となっているインターンシップの方でカウントする)。いずれも参加が確認できる資料を提出のこと。

\*3: 「「能登・祭りの環」インターンシップ」には、当日インターンシップ、短期インターンシップ、長期インターンシップ、の3種があり、いずれも原則、1日0.5ポイント×参加日数、最大6ポイント、とする。

・個別プログラムのいくつかは実施高等教育機関で単位になるものがある。詳細は随時わかり次第追加していく。

### ◎第3ブロック 趣旨：国際力（異文化理解・グローバル思考・外国語コミュニケーション等）の基礎を養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	国際協力と地域のグローバル化（2単位）	後期	金沢大学（JICA）	3
	グローバル時代の政治経済学（1単位）	前期・後期	金沢大学（機関開講）	1.5
	グローバル時代の文学（1単位）	後期	金沢大学（機関開講）	1.5
個別プログラム	学都石川グローバルビジョン養成講座 内容がインターンシップなので、特例としてステップ2対象とする	(北陸銀行) 11/18, 25, 12/2 (津田駒工業) 1/13, 20, 27	大学コンソーシアム石川（諸企業団体）	3
	「Reach KANAZAWA（インバウンド開発インターンシップ）」*4		金沢大学（COC+事業）	実稼働時間によってポイント数が異なる
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で開講している卒業要件外の中上級レベル外国語演習／講座	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	★各高等教育機関で実施している短期海外語学研修			

\*4：ガイドを行った時間数に応じてポイントを付与する（最大6ポイント）が、ガイド内容によっては第2ブロック及びステップ2の対象ともする。

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。

### ステップ3（国際力実践） 趣旨：国際力を実践的に養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
個別プログラム	海外インターンシップ・プログラム（タイ王国）	4～5月募集／8月実施	大学コンソーシアム石川	6
	海外インターンシップ・プログラム（ベトナム）	4～5月募集／9月実施	大学コンソーシアム石川	6
	国連スタディビジット・プログラム	9月29日～10月20日募集／2月実施	石川県	6
	トビタテ留学JAPAN「地域人材コース」：いしかわの明日の人材を育成する実践的留学プログラム支援事業（略称：石川プログラム）*5	第8期：10月末募集締切予定／30年度留学開始予定	大学コンソーシアム石川	6
	シリコンバレー研修プログラム		いしかわ学生定着推進協議会（COC+事業）	4
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で実施している派遣留学・私費留学	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	★各高等教育機関で実施している海外インターンシップ			

**\*5：トビタテ留学 JAPAN 「地域人材コース」石川プログラムは、留学準備と実践が含まれているので、これに採用されて全プログラムを修了すれば、ステップ1の第2・第3ブロックに各6ポイントを付与し、第2ステップの対象にもする。**

・★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会によるを受け必要がある。

#### 【ボランティア活動に対するポイント付与について】

学生が自主的に参加するボランティア活動にも、下記の条件①②を満たす場合には、下記のルールでポイントを付与します。

##### 条件

①各高等教育機関で開講されるボランティア活動に関する授業科目や講座（一般を対象とした公開講座を含む）、あるいは自治体・NPOなどの講習等を受講したことがあること。（修了証審査の際に確認の問い合わせをする。）

②ボランティア活動に従事したこと、その時間数、及び従事した活動内容が証明できること。（金沢市が行っているような証明証の発行など。書式は自由。具体的な活動内容については活動記録などでもよい。）

##### ルール

ポイントは最大3ポイント（30時間）とし、その内容によってステップ1の第2ブロックもしくは第3ブロックに配当する。また、30時間以上の実習に相当する内容の場合は、ステップ2にも該当することとし、活動内容からポイントを第3ブロックに配当した場合でも特例としてステップ2に該当するものとする。

#### 【一般向け公開講座のポイント付与】

各高等教育機関の地域連携センターなどでは、地域の一般の人々向けのさまざまな公開講座を開講しており、学生が参加できるものも少なくないので、「地域一般向けの公開講座」を趣旨に合致していればポイントを付与する「各高等教育機関で開講される科目・講座・個別プログラム」の「講座」の一種として扱うこととし、ポイントを付与する。ただし、「受講登録し出席回数が確認できること」が条件である。

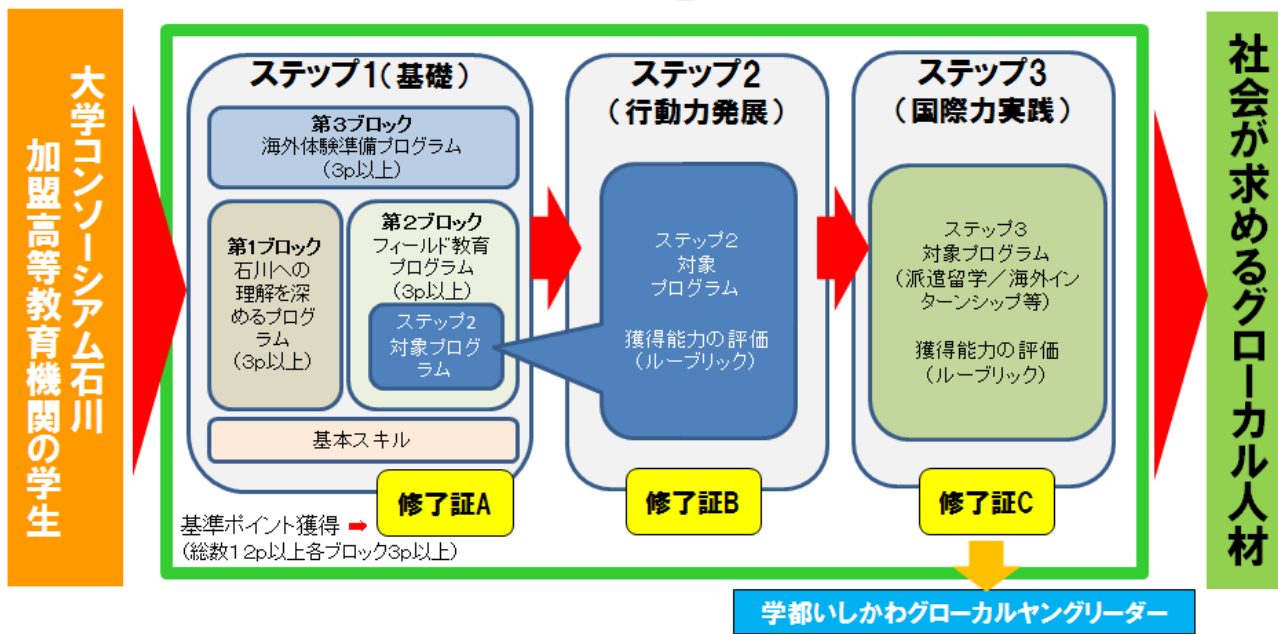
#### 【過去にさかのぼっての読み替え】

本プログラムには平成23年度以降に各高等教育機関で開講された授業科目（教養・専門・大学院の別を問わない）・講座・個別プログラムを含めることができる。平成26・27年度に関しては、「読み替えリスト」が作成されているが（一部高等教育機関では未作成）、それ以外でも趣旨が合致すれば含めることができる。本リストを参考に、過去に受講した授業科目等を一度みなおしてみて、もし申請が可能なようなら、申請してみてほしい。

## 参考：「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の概要

「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」は、現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。一定のレベルに達するごとに修了証を出し、その能力を証明します。修了証は、就職活動の際、獲得した資格の一つとして履歴書等を書くことができます。

### 「グローバル人材育成プログラム」概要イメージ図



◎本プログラムは、地球規模の視野を持ちながら地域課題に主体的に取り組み解決できる人材（課題解決型グローバル人材）を育成するための、大学コンソーシアム石川（以下 UCI と略す）とその加盟高等教育機関等が実施する科目や各種教育プログラムを組み合わせた高等教育機関横断の大型教育プログラムです。

◎本プログラムでは、「課題解決型グローバル人材」が獲得すべき能力として「発見力」「分析力」「展開力」「行動力」「国際力」の5つの力を養成します。5つの力の詳細とそのレベルは、ルーブリック（学習結果のパフォーマンスレベル・獲得すべき能力レベルの目安を数段階に分けて記述した学習達成度評価基準の一覧表）によって明示されています。ルーブリックはUCIのHPに掲載しています。

◎本プログラムは「基礎」「行動力発展」「国際力実践」の3ステップで構成し、各段階を修了するごとに、UCIより「修了証」を発行します。修了は、年2回、学生からの「修了証申請」を受けて判定します。最終目標であるステップ3を修了した学生には「学都いしかわグローバルヤングリーダー」の称号を授与します。

◎修了要件は、

- ステップ1
- ①基準ポイント（総数12ポイント、第1・2・3ブロックから各3ポイント）の獲得
  - ②スタンダードリストに掲載されている科目・講座・個別プログラムからの1ポイント以上の獲得（本リストに掲載されているものであれば、各機関で実施のものでもかまわない）
- ステップ2
- ①ステップ2該当の科目・個別プログラムに参加していること
  - ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均レベル2.5以上、行動力平均3.0以上
- ステップ3
- ①ステップ3該当の科目・個別プログラムに参加していること
  - ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均レベル2.8以上、行動力平均3.0以上、国際力平均3.0以上